

ごあいさつ

本町は、福岡県と大分県の県境に位置し、北は周防灘に面し、東西には山国川と佐井川が流れています。面積は 5.68 平方キロメートルと沖縄県を除く九州の自治体で最も小さく、地勢は平坦でとても行政効率が良い町です。また、町には自然、歴史、受け継がれてきた文化が今も息づいています。



本町は、昭和の大合併、平成の大合併においても合併せず、単独で個性あるまちづくりを進めていくことを選択してまいりました。また、地域のことは地域住民が決めるという国の地域主権改革の推進により、住民と行政がともに創意・工夫し、確かな地域力を高めていく必要性が格段に増してきています。

この度、平成 23 年度から 12 年間のまちづくりの指針として新たな総合計画「吉富まちづくりビジョン」を策定しました。緑豊かで自然に囲まれ住環境の整った住みよいまちを目指すとともに、このまちに生まれてよかった、住んでいてよかったと誇りを持って暮らせる町を目指し、「誇りと絆を育む緑豊かな住みよいまち☆小さなまちにあふれる輝き☆」を将来像として定めました。

町民と行政が共通の目標と認識を持ち、互いが協力しながら進んでいくことがまちづくりの第一歩であります。町民の皆様と行政が、住みたくなる町の創造に向けて力をあわせていけるよう、ご理解とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、熱心にご審議をいただきました総合計画審議会委員、地域別まちづくりワークショップメンバー、町議会、まちづくりアンケートを通じて貴重なご意見を寄せていただきました皆様並びに関係各位に対し、心から感謝とお礼を申し上げます。計画策定にあたってのあいさつといたします。

平成 23 年 7 月

吉富町長

今富 壽一郎